



製品安全データシート

作成日：2014年08月25日

改定日：2018年07月01日

1. 化学物質等および会社情報

製 品 名	システムロード2000
会 社 名	株式会社 NIPPO
住 所	〒104-8380 東京都中央区京橋1-19-11
担 当 部 門	本社・合材部
電 話 番 号	03-3563-6732
FAX 番 号	03-3567-4085
緊急連絡先	03-3563-6732
用 途	車止めブロック用接着剤
整 理 番 号	SR-20002

2. 危険有害性の要約

GHSラベル要素

絵表示	無し
注意喚起語	警告

GHS分類

急性毒性	経口	区分外
	経皮	区分5
	吸入(ガス)	区分外
	吸入(蒸気)	区分外
	吸入(粉塵・ミスト)	区分外
皮膚腐食性および皮膚刺激性		区分外
眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性		区分外
感作性	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性		区分外
発がん性		区分外
生殖毒性		区分外
標的臓器毒性(単回暴露)		区分2 (呼吸器、神経系、腎臓、肝臓)
		区分外 (肺)
		区分3 (麻酔作用、気道刺激性)
標的臓器毒性(反復暴露)		区分2 (呼吸器、神経系、肺)
		区分外 (精巣、肝臓)
吸引性呼吸器有害性		分類対象外
水性環境毒性(急性)		区分外
水性環境毒性(慢性)		区分3 (麻酔作用、気道刺激性)

危険有害性情報

注意事項

安全対策 なし

応急措置 なし

保管 該当なし

廃棄 都道府県等の許可を受けた専門業者に依頼して廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品混合物の区分

混合物

化学名または一般名

システムロード2000

別名

工業用接着剤

成分および含有量

化学名	含有量(wt%)	官報公示整理番号	CAS. NO
石油アスファルト	43.0～45.0	9-1720	8052-42-4
水	40.0～42.0	—	7732-18-5
ラテックス	9.0～11.0	非公開	非公開
PVA	3.5～4.5	6-687	25213-24-5
乳化剤・その他	0.015未満	—	非公表

危険有害成分

特定できない

化学物質排出把握管理促進法
(PRTR法)

非該当

労働安全衛生法

非該当

毒物劇物取締法

非該当

4. 応急措置

眼に入った場合

眼に入った場合、水で数分間注意深洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

大量の水でヒリヒリしなくなるまで冷やし、炎症等の症状が現れたら、医師の診断、手当てを受ける。

大量の水及び石鹼または皮膚用の洗剤で十分に洗い落とす。

アスファルト分が皮膚に付着しているときは、取り除かないで医師の手当てを受ける。

※溶剤やシンナーは使用しない。

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。体を毛布等でおおい、保温して安静を保ち、直ちに医師の手当てを受ける。

呼吸が止まった場合及び呼吸が弱い場合は、衣服を緩め、呼吸気道を確保したうえで、人工呼吸を行う。

飲み込んだ場合	誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受ける。 嘔吐物は飲み込ませないようにする。 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。
急性症状および遅 発性症状のもっとも 重要な徴候症状	本製品は、現在のところ有用な情報なし。 本製品は、加熱すると硫化水素/一酸化炭素を発生させる場合がある。 管理濃度を超える雰囲気中で吸引した場合、呼吸器官に刺激を与えることがある。呼吸器官に刺激を与えた場合、鼻水が出たり、喉に痛みを感じたり、咳き込んだり、気管支に炎症を起こしたり、息が苦しくなったりする事がある。
緊急措置をする者の 保護	現在のところ有用な情報なし。
医師に対する特別な 注意事項	現在のところ有用な情報なし。

5. 火災時の措置

消火方法	噴射水、粉末、炭酸ガス等消火器を火元に放射、散布するなどして消火する。 泡消化剤等を用いて空気を遮断する方法も有効である。 風上から行う。
消火剤	粉末、炭酸ガス、泡、乾燥砂
使っていない消火剤	棒状注水は、水蒸気爆発を起こす恐れがあるので避ける。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	作業の際には保護具を着用する。
保護具および緊急措置	屋内での使用時は、換気を良くする。 作業の際には手袋、必要に応じて、保護マスク、ゴーグル等を着用しガス等を吸入しないよう注意する。
環境に対する注意事項	排水溝、下水道、地下室あるいは閉鎖場所への流出を防ぐ。 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
封じ込めおよび浄化の 方法・機材	危険でなければ漏れをとめる。 漏出物を取り扱うときに用いる全ての設備は接地する。
二次災害の防止	引火点200℃以上で可燃性も低く、環境への影響も少ないため現在のところ有用な情報なし。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取 扱 い

室内で使用する場合は、換気を十分にします。

直接火の中に入れないこと。

直接水の中に入れないこと。

長袖作業着・保護手袋を着用すること。

呼吸用保護具や保護眼鏡を着用すること。

取り扱い後は、よく手を洗うこと。

保 管

常温・常湿で屋内倉庫に保管する

余った製品は、水まわりや湿気の多い場所に置かないこと。

余った製品は、子供の手の届くところには置かないこと。

8. ばく露防止および保護措置

製品としての有用な情報なし

単一製品として	許容濃度(暴露限界値、生物学的暴露指標)			
化学名	管理濃度	日本産業衛生学会	ACGIH	
ストレートアスファルト	ストレートアスファルト としては勧告値なし 1ppm(硫化水素として)	ストレートアスファルト としては勧告値なし	TWA値 0.5mg/m ³ (Asphalt fume)	STEL値 勧告値なし(Asphalt fume)
		5ppm(硫化水素として) 50ppm(一酸化炭素として)	1ppm(硫化水素として) 25ppm(一酸化炭素として)	5ppm(硫化水素として)
水	—	—	—	—
ラテックス	—	—	—	—
PVA	未設定	第三種粉塵; 2mg/m ³ (吸湿性)	未設定	未設定
		第三種粉塵; 8mg/m ³ (総粉塵)		
その他	未設定	未設定	未設定	未設定

設備対策

屋内作業で大量に使用するときは、蒸気が滞留しないように、排気装置を設置する。

保護具

呼吸用保護具

保護眼鏡

保護眼鏡

保護手袋

保護手袋

保護衣

長袖作業着

特別な注意事項

有用な情報はなし。

9. 物理的および化学的性質

外観

黒色半固体(ペースト状)

臭い

データなし

pH

7.0±1

融点、凝固点

データなし

沸点、初留点と沸点範囲

データなし

引火点

データなし

爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度(空気=1)	データなし
密度	1.03g/cm ³
溶解度	石油系及び塩素系溶剤に溶ける。
N-オクタール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし

10. 安定性および反応性

安定性	製品に対する有用な情報なし。
反応性	塩酸・硝酸及び過酸化剤等と反応することがある。
引火点	エマルジョンのため、燃焼はしない。
避けるべき条件	有機溶剤との接触。 強酸化剤との接触。
混触危険物質	製品に対する有用な情報なし。
危険有害な分解生成物	本製品に対する有用な情報なし。
その他	

11. 有害性情報

本製品に対する有用な情報なし。

12. 環境影響情報

本製品に対する有用な情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	都道府県等の許認可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して廃棄処理を行う。
容器および梱包	自治体の定めるルールに従い、分別して廃棄を行う。
その他	投棄禁止 その他、関係法令に定めるところに従う。

14. 輸送上の注意

国際規制	国連番号	非該当
	品名	非該当
	国連分類	非該当
	容器等級	非該当
	海洋汚染物質	非該当
国内規制	陸上	労働安全衛生法 非該当
	海上	船舶安全法 非危険物

	航空	航空法	非危険物
追加の規制	本製品に対する有用な情報なし。		
輸送又は輸送手段に関する特別な安全対策	本製品に対する有用な情報なし。		

15. 適応法令

消防法	非該当
PRTR法	非該当
労働安全衛生法	表記対象物(通知対象物) : アスファルト
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
廃棄物の処理および清掃に関する法律	産業廃棄物規制

16. その他の情報

参考資料	厚生労働省 職場の安全サイト GHS対応モデルMSDS GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 原材料データシート(SDS) 許容濃度等の勧告、日本産業衛生学会(2015) 米国産業衛生専門家会議(ACGIH2014) 安全データシート ストレートアスファルト(JXTGエネルギー株)2018/07/01) 安全データシート ストレートアスファルト(昭和シェル石油株)2018/05/01) 安全データシート ストレートアスファルト(コスモ石油株)2018/07/01) IARC Monographs on the evaluation of the carcinogenic risk of chemicals to humans その他
------	--

安全データシート(SDS)は、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱事業者提供されるものです。

本データシートは当該製品の一般的な取り扱いに際しての安全な取り扱い方法について、最新の情報を集めたものですが万全ではありません。新たな情報を入手した場合は追加または訂正することがあります。当該製品を他の製品と混合したり、特殊な条件で使用したりするときは安全性の評価を行って下さい。

なお、本データシートそのものは安全の保障書ではありません。